

ID No.	140
研究課題名	遺伝子多型に基づいたオーダーメイド緩和医療
研究代表者	池田 和隆（公益財団法人東京都医学総合研究所・参事研究員）
研究組織 受入教員 研究分担者	鎮西 美栄子（東京大学医科学研究所・准教授） 西澤 大輔（公益財団法人東京都医学総合研究所・主任研究員） 長谷川 準子（公益財団法人東京都医学総合研究所・非常勤職員） 今井 浩三（東京大学医科学研究所・特任教授） 岩瀬 哲（東京大学医科学研究所・特任講師） 島田 直樹（東京大学医科学研究所・特任助教）
研究報告書	
当該癌性疼痛症例において年齢、性別、身長・体重や解析対象予定遺伝子の <i>OPRM1</i>、<i>GIRK2</i>、<i>ADRB2</i>、<i>CACNA1E</i>、<i>CREB1</i> の 5 種遺伝子多型のタイピングの結果などより得られた周術期のフェンタニル投与必要量の予測値を算出するための予測式に関して(特願 2011-288940)、申請者らの研究室において既にサンプルを入手済みの下顎形成術症例及び開腹術症例のデータを用いて詳細に予備検討を行い、癌性疼痛症例を対象とした解析のための礎を構築した。 また、<i>OPRM1</i> 遺伝子に関しては、遺伝子領域全体に渡る多型を対象とした再解析を行い、最適な鎮痛薬感受性関連の解析対象多型の再検討を行った。 さらに、研究開始のための倫理申請を東京大学医科学研究所益財団法人東京都医学総合研究所の双方で行い、承認を得て、遺伝子解析用の血液試料採取の準備も含め、実際の症例収集のための準備をほぼ完了した。	